

## 自宅の庭にオオキンケイギクは咲いていませんか？

オオキンケイギクは、5～9月ごろに鮮やかな黄色の花を咲かせる特定外来種です。繁殖力が非常に強く、在来植物へ影響があることから、法律により、栽培や保管、運搬が禁止されています。庭先などで見掛けた場合は、根から抜き取り、焼却ごみとして出してください。



環境政策課(1階)

☎561-2341、FAX561-2479



## 史跡草津宿本陣 本陣楽座

2席の落語に加え、落語家 桂春之輔さんと史跡草津宿本陣館長による対談「本陣よもやま話」もあります。豪華になった本陣楽座をお見逃しなく！

落語の上演

●演者・演目 桂春之輔「竹の水仙」、桂福留

🕒 5月24日(土) 17:30～19:00

👤 100人(先着順) 🎫 800円 📅 5月3日(土)祝～

📍 申・問 史跡草津宿本陣(草津一) ☎・FAX561-6636

## 歴史ギャラリー

### 万国博記念乗車券

— 大盛況を支えた縁の下の力持ち —

No.210



大阪では55年ぶりとなる国際博覧会、大阪・関西万博が、4月13日から開催されています。これにちなんで今回は、昭和45(1970)年に開催された大阪万博に光を当てたいと思います。

大阪万博は、国内外から多くのパビリオンが参加し、3月15日から9月13日までの半年間で入場者は6,400万人以上でした。これほど多くの入場者ほどのようにして訪れたのでしょうか。その背景には、万博に合わせて開業された臨時駅の設置がありました。当時の交通事情を、1枚の記念乗車券を手掛かりに考えていきます。

今回紹介する記念乗車券は、市が寄贈を受けた8千点以上の鉄道関係資料「山口正コレクション」のうちの1枚です。乗車券は「万国博記念乗車券」で、日本国有鉄道(国鉄)によって発行されたものです。乗車券のデザインは上部に、シンボルであった太陽の塔の他、オーストラリア館など各国のパビリオン、万国博モノレールやレインボーロープウェイなど、当時の最新技術を用いた施設が描かれています。

下部が切符になっていて、経路は国鉄津田駅(現在のJR津田駅、枚方市)から環状線を經由し、大阪駅で阪急電車梅田駅(現在の大阪梅田駅)に乗り、万国博西口駅に到着するルートでした。

万国博西口駅は、昭和44(1969)年11月に当時の南千里駅と北千里駅の間が開業し、会期中、約920万人が利用しました。多くの人々の輸送のため、万国博西口駅につながる路線には臨時ダイヤが組まれ、特に1日の利用者数が83万人を超えた9月5日には、深夜2時まで運行を延長しました。

このように盛況を支えた万国博西口駅でしたが、会期終了後の昭和45年9月14日に臨時駅の役目を終え、廃止となりました。

▲「万国博記念乗車券」(草津市蔵・山口正コレクション)

問 草津宿街道交流館(草津三) ☎567-0030、FAX567-0031

## Kusatsu Information

いつでもどこでも「広報くさつ」



市ホームページ



ラジオえふえむ草津 (FM78.5MHz) 「声の広報」



スマートフォン用アプリ

- マチイロ
- SideBooks(ちいき本棚)



市の花  
アオバナ



市の木  
キンモクセイ

市公式ソーシャルメディア



草津市メール  
配信サービス

市の情報をメールで  
配信するサービス



くさつチャンネル

さまざまな動画や、  
びわ湖放送(BBC)で放送されている  
草津スケッチもこちらから配信！



3月31日現在  
(対前月比)

- 人口 140,493人(+70)
- 世帯数 64,900世帯(+231)
- 男 70,324人(-7)
- 女 70,169人(+77)